

留 学 報 告 書

記入日:2015年8月17日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科		
留学先国	ハンガリー		
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エトヴェシュ・ロラード大学 現地言語: Eötvös Loránd Tudományegyetem		
留学期間	2014年9月～2015年7月		
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)		
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)		
留学先での所属学部等	人文学部		
帰国年月日	2015年7月21日		
明治大学卒業予定年	2017年3月		
留 学 先 大 学 に つ い て			
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期:9月上旬～1月下旬 2 学期:2月上旬～7月上旬		
学生数	3万人		
創立年	1635年		
留学費用項目	現地通貨 (HUF ハンガリアンフォロント)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	46,000	23,000円	
食費	50,000	25,000円	
図書費	0	0円	
学用品費	8,000	4,000円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	10,000	5,000円	
医療費	111,000	50,000円	
保険費		90,000円	形態:明治指定の保険だけです。
渡航旅費	1,540,000	770,000円	
雑費	179,000	89,500円	
合計	3,012,000	1,590,500円	宿泊費、食費、被服費は月額で表示

渡航関連

渡航経路: 往路・復路: 日本⇄オーストリア、オーストリア⇄ハンガリー

渡航費用

チケットの種類 往復航空券

往路 _____

復路 _____

合計 224,000円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

H.I.S

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 _____)

3)住居を探した方法:

先方の大学の international coordinator から情報を得た。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

前期は二人で住む相部屋に住んでいたが、二人で住むには少し小さかったように思われる。しかし、ベッドやクローゼット、机など生活に必要なものはそろっており、部屋ごとにシャワールーム、トイレ、冷蔵庫がついているので、何不便なく生活できる。後期には個室部屋に移った。一部屋が2つに分かれていて、シャワールーム、トイレ、冷蔵庫は変わらず二人で共有する形になってはいるが、部屋自体は別々に別れているので、より快適に過ごすことができる。備え付けの家具は二人部屋と変わらない。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した: 大学には留学生が利用できる診療所がなかったため、公共の病院に通った。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特にこの人に相談するというのはなかったが、何かあった場合には大学ごとに設置されている international coordinator によく相談していた。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

ハンガリー人曰く第8区(Blaha Lujza tér)辺りがあまり治安が良くなく、夜にその地域を出歩かないようにした。犯罪等に巻き込まれたことはなかったが、私の知人で何回か被害にあったという人がいると聞いたことがある。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の部屋では有線 LAN のみで使用でき、人によっては自らルーターをつなぎ、部屋で無線 LAN を使っていた。寮の ground floor に行けば無料 wifi が飛んでいるので、wifi が必要な時はそれを利用した。但し、接続が悪く全くながない時もあったので、そういった時は外に出て、カフェやファストフード店で無料 wifi を使った。ブダペスト内では wifi が使える場所がとても充実しているため、困ることはなかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

海外でキャッシュカードを使えるように日本で手続きをして、ハンガリーの ATM からお金を引き出せるようにした。また、そのキャッシュカードをクレジットカードのように使えるようにし、買い物の際はそのカードで支払いを済ませたりもした。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本のコンセントを使いたい場合、専用のたこ足配線を持っていくととても便利。

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
私は大学二年生時に留学を開始し三年生の前期に帰ってきたため、まだ本格的な留学準備は始めていない。しかし、自分の将来になりたい職業に目星がついているのであれば、詳しい業務内容などを調べておくとなら役に立つと思う。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
32 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American English	
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	9/3-5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	lecture
授業時間数	1週間に 90 分が 13 回
担当教授	Judit Pethő-Szirmai
授業内容	アメリカとイギリスの発音の違いなど、英語をより深く掘り下げて学習する
試験・課題など	筆記テスト
感想を自由記入	専門的でかなり細かい内容が多く難しくはあったが、各授業にそれぞれ新しい発見があったため勉強になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Language Practice I	
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	9/3-5
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	seminar
授業時間数	1週間に180分が13回
担当教授	Magdolna Kimmel
授業内容	英語をもう一度しっかり勉強しつつ、さらにハイレベルな英語を学びたい人向けの授業
試験・課題など	単語テスト、文法テスト、レポート、プレゼンテーション
感想を自由記入	reading, listening, writing, speaking すべて総括した授業形態でとてもためになり、classmate とも楽しく勉強できた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Studies	
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	9/3-5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	lecture
授業時間数	1週間に90分が13回
担当教授	Dorottya Holló 他多数
授業内容	ほぼ毎時間講義を行う教授が変わり、授業内容も同様に変わる。だが、“文化”という枠組みは変わらないので、世界中の文化やそれに関わる地理や歴史などを同時に学ぶことができる
試験・課題など	テスト(選択問題)
感想を自由記入	授業ごとに内容が変わる分、カバーしなければいけない内容が多くて大変ではあったが、多様な面から文化というカテゴリーを勉強できたので、すごくためになった

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English for tourism (Content-based Language Development)	
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	9/3-5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	seminar
授業時間数	1週間に90分が13回
担当教授	Jekatyerina Dunajeva
授業内容	歴史、経済、文化など様々な分野について、「旅行」という観点から研究するので世界の動向が把握しやすい
試験・課題など	小レポート(400words ほど)、大レポート(1800-2000words ほど)、プレゼンテーション
感想を自由記入	教授の英語がすごく早くて難しく、留学も始まったばかりでまだあまり英語に慣れていなかった時はかなり大変ではあったが、その分質の高い授業が受けられたと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intercultural Communication			
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	9/3-5		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	seminar		
授業時間数	1週間に90分が13回		
担当教授	Dorottya Holló		
授業内容	世界に存在する数えきれないほどの文化について、毎時間様々な視点から考え、文化とはいったい何なのか、これに対する答えを見つけるべく、より深く調査、議論していく授業		
試験・課題など	中レポート(800wordsほど)、大レポート(1600wordsほど)		
感想を自由記入	教授がとても優しく、授業も分かりやすかった。クラスメイトが全員女子だったのもあるが、とにかく楽しい授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Media in the Digital Age (Content-based Language Development)			
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	2/2-6		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	seminar		
授業時間数	1週間に90分が13回		
担当教授	Frank Prescott		
授業内容	メディアという大きな課題を中心に置き、それに伴う社会現象や問題などを英語を通して学んでいく		
試験・課題など	予習、単語リスト作り、プレゼンテーション、中レポート(500wordsほど)、口頭試験		
感想を自由記入	あまり精通していない内容の授業だったが、それがむしろ授業を刺激的にし、毎回楽しく授業に臨むことができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Cognitive Linguistics			
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	2/2-6		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	seminar		
授業時間数	1週間に90分が13回		
担当教授	Bakhtiar Mohsen		
授業内容	人間が持つ一般的な認知能力の反映として言語を捉えることにより、人間と言語の本質を探究する言語学		
試験・課題など	予習、テスト		
感想を自由記入	言語学ではあったが、少し心理学のようなものも混ざっていて面白かった。教授も優しく、質問があれば聞きに行くこともできたので、授業にしっかりついていった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Critical Geopolitics	
科目設置学部・研究科	社会科学部
履修期間	2/2-6
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	seminar
授業時間数	1週間に90分が13回
担当教授	Kopper Akos
授業内容	地理的な位置関係が政治、国際関係に与える影響を研究する学問について学ぶ
試験・課題など	中レポート(A4 三枚以内)
感想を自由記入	あまり得意ではない地理に国際問題などを絡めながら行われた授業だったので、正直難しくはあったが、ユーモアある教授の話の聞くことはすごく楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary Challenges for the Hungarian Society	
科目設置学部・研究科	社会科学部
履修期間	2/2-6
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	lecture
授業時間数	1週間に90分が13回
担当教授	Heller Maria 他多数
授業内容	授業ごとに異なるハンガリーが抱える社会的問題などに触れながら追及していく
試験・課題など	大レポート(12000-15000 characters)
感想を自由記入	様々な視点からハンガリーを追及していき、普段の生活からは見ることのできない一面を見ることができたので面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Typography	
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	2/2-6
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	lecture
授業時間数	1週間に90分が13回
担当教授	Kiss Zoltan
授業内容	活字を用い、それを適切に配列することで、印刷物における文字の体裁を整える技法について学ぶ
試験・課題など	テスト
感想を自由記入	最初は知識が全くない中で始まり、いろいろと不安はあったが、内容はとても興味深いものが多く、最後まで楽しむことができた。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	大学受験、明治大学国際日本学部に入學が決まる
4月～7月	大学の説明会を通し、留学に興味を持つ
8月～9月	夏休み、語学プログラムで一ヶ月間ベトナムに滞在
10月～12月	TOEFL 受験、ハンガリーのエトヴェシュ・ロラード大学に協定留学が決まる
2014年 1月～3月	春休み
4月～7月	ビザ発行の手続き、留学に向けての準備
8月～9月	日本を出発、現地での留学開始
10月～12月	前期が終わり、テスト期間に入る
2015年 1月～3月	一月の下旬まで冬休み、二月から春学期開始
4月～7月	七月をもって春学期終了、帰国
8月～9月	夏休み、ゼミの活動に参加
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	第一の理由は、自らの語学能力を向上させるためです。やはり日本にいただけでは限界があると思い、自らがその国に赴いて、実際に英語を使った生活に身を投じる必要があると思いました。第二の理由は、日本の文化と全く異なる国に長期間住み、日本では経験できない「外部としての自分」を体験したかったからです。そうすることで、日本にいる留学生の気持ちがわかるようになり、彼らともしっかりと親身に交流できるようになると思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	私の経験上、ハンガリーは野菜や果物、お肉など食料品がとても安いので、自炊をする準備をしておくといいかと思います。ご飯を食べる際、お店で買うよりも節約になるので、なるべく出発前から料理の練習をすることをお勧めします。機会があれば、ハンガリーでできた友達に日本食をふるまうといい交流のきっかけにもなると思います。
この留学先を選んだ理由	アメリカなどに行き語学能力をもっと伸ばしたかったものの、今まで行ったことがない環境に身を置いてみたいという気持ちが強くあり、ハンガリーを選びました。第一言語はハンガリー語で、道行く人すべてが英語を話せるわけではありません。また、ハンガリーは日本とかなり離れていて、文化や習慣も大きく違います。一見生活するにはかなり大変そうに見えますが、私にとって新しいものに出会える最高の機会をくれる国だと思いました。
大学・学生の雰囲気	ハンガリーの学生さんは勉学に対する姿勢が素晴らしく、常に向上心にあふれており、一緒にいてかなり刺激になります。性格もとても気さくで、わからないことがあればすぐに助けてくれる親切な方が多かったです。大学は広く、建物に歴史が根強く残っており、外観は美術館のような雰囲気を醸し出しています。
寮の雰囲気	今回住んでいた寮はもともとハンガリー人学生用のところだったので、圧倒的に留学生が少なかったです。しかし、英語を話せる方が大多数だったので、交流には困りませんでした。たとえ英語が話せなかったとしても、とてもフレンドリーに話しかけてくれました。寮ではほぼ毎晩のように、パーティーなどの催し物が行われていました。
交友関係	私の学部には留学生がかなり少なかったので、最初はハンガリー人だけのコミュニティーにいたことがとてもつらかったし、ストレスにさえ感じました。けれど、慣れてきたあたりから自分から進んで交流を持つと頑張ったことで、たくさんの友達を作ることができました。私はパーティーがあまり好きではなかったのですが、友達とは学校帰りにご飯を食べに行ったり、バーでお酒を飲みながらお話ししたり、休みの日には一緒にショートトリップをしたりして、楽しい時間を過ごしました。
困ったこと、大変だったこと	初めての一人暮らしだったので、炊事洗濯など何もかも自分でやらなければいけない環境に慣れるまではとても大変でした。私はもともと体がそこまで強くないので、慣れない環境にたびたび体調を崩し、ついには病院にまで行かなければいけなくなりました。
学習内容・勉強について	私は英語学科に所属していたので、自分の英語能力をさらに鍛えるために授業を取りつつ、専門分野である歴史や文化を英語で学ぶことができたので、とても充実した留学生活でした。わからないところなどがあると教授が授業後などに細かく教えてくれたので、たとえ授業内容は難しかったとしても、最後までついていくことができました。
課題・試験について	課題は授業ごとに違うとは思いますが、授業で扱った内容に関するレポートやプレゼンテーションを生徒に課す教授が多かったです。試験はセミナーであればレポートや口頭試験、レクチャーであれば中間試験と期末試験のテストという仕組みでした。テストの難易度はかなり高く、授業によっては受講者の半分以上が落とすなど、かなりハードなものでした。
大学外の活動について	ブダペストにある日本人宿で行われているハンガリー語・日本語サークルに参加し、ハンガリー人の方と一緒に勉強しつつ、彼らとの交流を楽しみました。それ以外にも、ブダペストにあるリスト音楽院の方々との出会いもありました。仲良くなった方たちのコンサートなどにお呼ばれするなどして、普段なかなか聞けない生演奏の音楽にも触れ合うことができました。
留学を志す人へ	留学は決して簡単なことではありません。一難去ってまた一難、という言葉があるように、予想もつかないような困難にぶち当たることもあるでしょう。けれど、それをも楽しめるくらいの強い心と耐え忍ぶ忍耐、これらを持つ人こそが最高の留学生生活を勝ち取ることができると思います。大変かと思いますが、夢実現に向けて頑張ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業		授業			(旅行)	(旅行)
	授業		授業			(旅行)	(旅行)
午後	授業	授業		授業		(旅行)	(旅行)
	授業	授業		授業		(旅行)	(旅行)
夕刻	友達とご飯	課外活動			交流会		
夜	自習	自習	自習	自習		自習	自習